

## 時々見える糸くずの正体とは！？

### 飛蚊症について

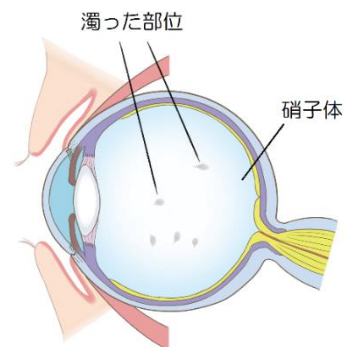
眼の中にはゼリー状の組織(硝子体)があります。

そのゼリー状の組織に濁りが生じ、眼底に影として映る事で、糸くずや蚊のようなものが飛んでいるように見えます。

これを飛蚊症といいます。

ゼリー状の組織は眼の動きに伴って動くので、眼を動かすと飛蚊症もあちこちに動き回ります。

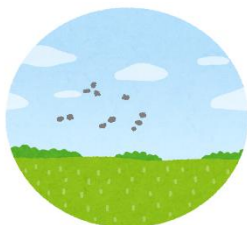
濁りはゼリー状の組織が溶けて縮んだときに起こることが多く、**加齢に伴って起こる生理現象**です。



生理的な飛蚊症は近視が強い人ほど早くから始まり、眼が良い人ほど飛蚊症が始まるのが遅く、50歳以上になってはじめて飛蚊症が起こる事もあります。



糸くず状



ゴマ状



虫状



カエルの卵状



たばこの煙状

生理的飛蚊症の見え方

病的なものでは、網膜剥離や炎症・出血が原因で飛蚊症を起こすことがあります。

このような病的な飛蚊症の場合には、原因となっている病気を治療する事が必要です。

もし、飛蚊感が強くなったり、続くようであれば、**一度眼科を受診しましょう。**

